

3月の星空まっぷ

【3月中旬、午後8時頃に見える星空】
日本の国産新型ロケットH3 二号機の打ち上げが成功し、搭載衛星も無事、軌道に投入された。宇宙への夢が大いに進むこと期待したいものじゃ。さて冬から春へと移ろう星空、楽しもうかの！
はい。星空どどん動いているんだね。ホミリーも春の星たちが広がっているの、よく分かるよ。

星空の動きを

じっくり観察してみよう！

星空をよく見ていると、同じ星が少しずつ右(西)の方に動いているの気が付く。ちよつと見ただけじゃ分からないが、しばらく見ていると「なるほど！」と合点がいく。

南の空から見上げると、左側が東の空、右側が西の空。星たちは、毎日東の空から昇り、西の空に沈む。それも「北極星」を中心に円を描いて回っている。普段何気なく見ている星空も、こんな風に夜空を巡っているんじゃないや！

春の星空って

さながら動物園みたい！

ギリシア神話に怪物として描かれた動物たちとの出会いで、春の星空は開幕する。さて、どんな動物たちと出会えるだろうか！
東の空に、「かに座」「しし座」そして「うみへへび座」が見える。皆、英雄ヘルクレス(夏の星座ヘルクス座)に退治された怪物たち。しし座は「人食いライオン」、うみへへび座は頭から尻尾まで姿を現すのに7時間ほど掛かる全天一長くて大きい「怪物ヒュドラ」。かに座は、あえなくヘルクレスに踏みつぶされてしまう「お北けが三」の姿じゃ。そして、お馴染み北斗七星がある「おおぐま座」と尻尾が北極星の「こぐま座」が仲良く北の空を回っておる…。暖かい季節へと移ろう星空を、ゆったりと見上げてみよう。

2024.3

星爺(ほしじい)

西の空に傾く冬の星座たち！

「また会おうね！」

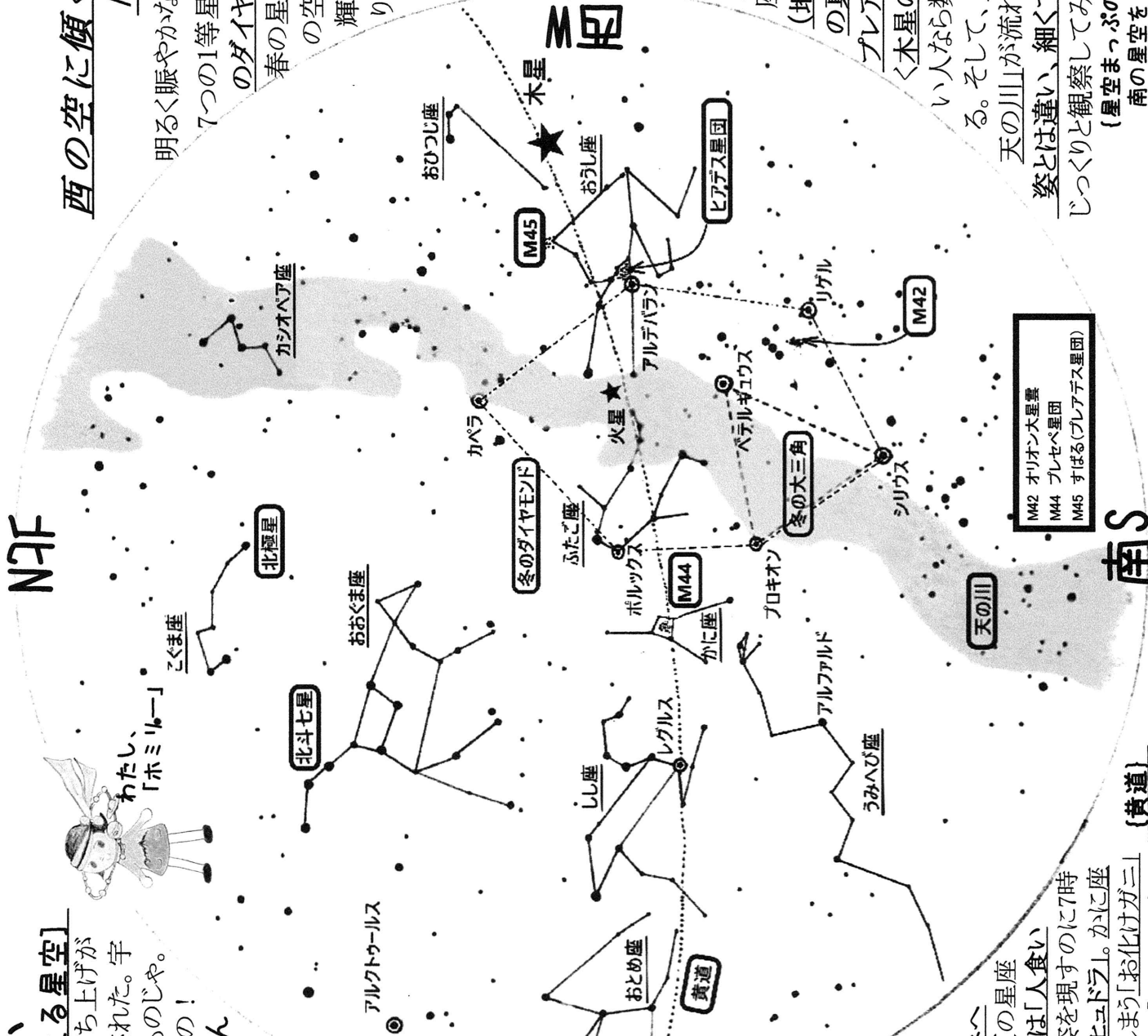
明るく賑やかな冬の星空もお別れじゃな。7つの1等星が作る「冬の大三角」や「冬のダイヤモンド(冬の六角形)」が春の星たちに追われてどんどん西の空に傾いておる。名残惜しく輝く冬の星たちを、もう一度振り返って見てみよう。

そこで、冬の星空にぜひ見つけてほしいのがオリオン大星雲(M42)と「すばる」の名で親しまれているプレアデス星団(M45)だ。この2つの星雲、星団は全天を通しても肉眼で見つけられる人気の天体だ。双眼鏡があればぜひ覗いてみよう。オリオン大星雲は、オリオン座の目印「三ツ星」の直ぐ南(地図下側)、縦に並ぶ暗い星の真中辺りにボヤッと見える。プレアデス星団は、西の空低く輝く木星の左寄りに、肉眼でも目の良い人なら数個の星を数えることができる。そして、冬の星たちの真中を「冬の天の川」が流れている。夏の輝く天の川の姿とは違い、細くて淡い「冬の天の川」の姿をじっくりと観察してみよう！

(星空まっぷの見方)
南の星空を見上げる時は「南」を下に、北を見る時はまっぷをさかさまにして「北」を、同様に東の空は「東」、西の空は「西」を下にして見上げてね！

北

南



M42 オリオン大星雲
M44 プレゼペ星団
M45 すばる(プレアデス星団)

- 1等星以上
- 2等星
- 3等星
- 4等星以下

【黄道】

天空の星座のあいだを移動する太陽の見かけ上の通り道